

交時差展^{とアートの} 結ひ

2025

10月4日^土～
10月26日^日

別館開館時間 9:00～16:30 (最終日は16:00まで)

休館日 10/6 (月)、10/14 (火)、10/20 (月)

場 所 国登録有形文化財 旧林家住宅
一宮市尾西歴史民俗資料館 (別館)
愛知県一宮市起字下町211番地

入場無料

企 画 美術家 大塚将司
ハートフィールドギャラリー 園部知江子
展示協力 水谷一子

Artist

大塚 将司	Otsuka Masashi
加藤 高宏	Kato Takahiro
こざわ ちはる	Kozawa Chiharu
関野 敦	Sekino Atsushi
田村 憲一	Tamura Kenichi
トザキ ケイコ	Tozaki Keiko
北村 尚子	Kitamura Naoko

(※加藤高宏、トザキケイコの作品は最終日は午前中までの展示となります。)

あいまに
灰と薔薇の
2025
あいち
国際芸術祭



連携企画プログラム

主催・問い合わせ

美濃路×木曽川

ミュージアム



一宮市尾西歴史民俗資料館

TEL 0586-62-9711



website





【同時開催】
Live Painting Gallery 2025
造形作家北村尚子によるライブペインティング作品の展示です。

10月4日(土)~26日(日)

休館日10/6(月)、10/14(火)、10/20(月)

会 場 一宮市尾西歴史民俗資料館 本館ギャラリー
入場料 無料

北村 尚子 (Kitamura Naoko)

「じゃじゃじゃーん!」 キャンバス地にアクリル オイルクレヨン 1.4m×5m

今年の干支の「巳(蛇)」から旧約聖書にあるアダムとイブの物語をモチーフにしました。
神様によって作られたアダムとイブは蛇にそそのかされて禁断の林檍を食べてしまいました。
その為に楽園から追い出され、「死すべき運命」の人間の祖先となります。
誘惑に負けても、甘い言葉に乗せられても「えいやっ」と跳ね除ける不屈のイブに思いを込めました。

絡合(らへぐらう)：お互いに絡み合い、もつれ合うこと。

旧林家住宅は、起宿脇本陣跡地に江戸時代の伝統的な町屋建築の様式を取り入れて大正2年に再建された建物です。旧林氏庭園は枯池を配置した廻遊式の日本庭園です。
「時とアートの交差点―結びひ―」では、伝統と現代、建築と庭園、空間の中に異なる表現が絡合し新たな発信をします。
表現の異なる空間の場の中で、過去・今・未来へと繋がるアートを感じ取ってください。



加藤 高宏
(Kato Takahiro)
トザキ ケイコ
(Tozaki Keiko)

あまつち巡る波紋の
しらべ
素材/陶、木、ミクストメディア
サイズ/可変

撮影：山口 幸一





大塚 将司
(Otsuka Masashi)

交差スル石舞台

素材／石、貴籐、ハンダ、フィギュア、借景

裏庭には濡れ縁と手水鉢、様々な樹木とコケなどの植物。それらを借景として時とスケールの対比を生み出す。空間に浮かぶ石とそれを支える建築はその存在の脆弱性の美を感じる。自然と人工、伝統と現代、石の安定感と未完の構造物の儚さが交差し絡合することで自分の内面を見つめることができるかもしれません。

美術家 江南市在住
愛知県立芸術大学美術学部 卒業

旧林家住宅×現代アート展(2018～2025)企画(一宮市)

- 2018 見えるもの見えないもの展
- 2019 時空のサンクチュアリ展
- 2020 そこにある存在と記憶展
- 2021 しあわせのポジション展
- 2022 木曽川アートライアングル
- 2023 時とアートの交差展-オワリカラハジマル-
- 2024 時とアートの交差展-環る-
- 2025 時とアートの交差展-結び-



加藤 高宏
(Kato Takahiro)

あまつち巡る波紋のしらべ

素材／陶、木、ミクストメディア
サイズ／可変

陶器は、土、水、火、そして空気で出来ています。その陶器で茶を喫する、茶の湯という行為。その行為を美に昇華しようとした先人達にとって、それは地上に存在するそれらのエレメントを通して天に届かんとする、祈りの行為であったのかも知れません。

- 2003 「現代日本の陶芸 受容と発信」(東京都庭園美術館)
 - 2005 「瀬戸市美術館特別展 瀬戸の現代陶芸」出品
 - 2006 しずや黒田陶苑にて初個展
 - 2008 名古屋・丸栄、菊池寛美記念 智美術館で「加藤唐九郎・重高・高宏 築ぐれ三代展」開催
- 以降毎年各地で個展開催



こざわ ちはる
(Kozawa Chiharu)

海への旅

素材／銅
技法／ろうけつ染め
サイズ／可変

当たり前にあって、気付かなかった。木曽川の美しさに、故郷を離れて気付きました。地元で展示が出来ること、ここまで歩んでくれたことに、感謝します。

染色作家、工作教室講師
一宮市出身 名古屋市在住
名古屋芸術大学 テキスタイルコース卒業

- 2022 中部染色展 奨励賞
愛知分連協会美術展 奨励賞
 - 2023 中部染色展 中賞
 - 2024 日本新工芸展 上野の森美術館奨励賞
中部染色展 協会賞
- 展覧会参加
2024 フラワーパークArtプロジェクト展-かわのほとり- #3-グループ展



関野 敦
(Sekino Atsushi)

ポリフォニーの影

素材／紙に鉛筆、アクリル絵具 他
サイズ／可変

美しい伝統的な和の空間に、現代社会に生きる自身の感覚と日常を重ね合わせてみようと思いました。

岐阜県生まれ 愛知県立芸術大学美術学部卒

個展
ギャラリーACS(名古屋)
ギャラリー名芳洞(名古屋)
ガレリアグラフィカbis(東京)
織部亭(一宮)
ギャラリーラウラ(日進)他

グループ展
さっぽろ国際版画ビエンナーレ
プリンツ21グランプリ展 他



田村 憲一
(Tamura Kenichi)

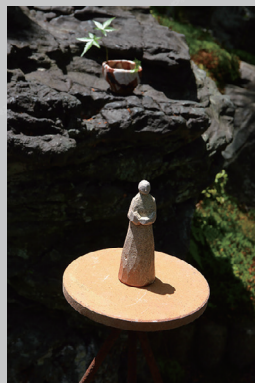
結

素材／神楽紙、墨、コチニール
サイズ／1820mm×910mm

ここに結われている
ここで結われている
そこで結われている
確かに結われている

日本画家
愛知県一宮市出身、新潟県新潟市在住
名古屋芸術大学美術学部日本画コース卒業
筑波大学修士課程芸術研究科修了

- 個展
2013 ユルスリース国際文化センター(77/ス)
- 2024 十一月画廊(銀座)
- 2025 ハートフィールドギャラリー(名古屋)
- 2025 新潟絵屋(新潟)



トザキ ケイコ
(Tozaki Keiko)

あまつち巡る波紋のしらべ

素材／陶、木、ミクストメディア
サイズ／可変

火と水によって姿を変える土、時を経て生まれる木の表情。その間に佇む祈る人々。丹念に整えられた日本庭園を臨む美しい奥座敷。相方に陶芸家をお迎えし、土と木で設えた天と地を繋ぐ作品を現出させます。

岐阜県生まれ 愛知県立芸術大学美術学部卒

個展
ギャラリーACS(名古屋)
ギャラリー名芳洞(名古屋)
ガレリアグラフィカbis(東京)
織部亭(一宮)
ギャラリーラウラ(日進)他

グループ展
さっぽろ国際版画ビエンナーレ
プリンツ21グランプリ展 他

時とアートの交差展

ー 結 ひ ー

美濃路×木曽川
ミュージアム
一宮市尾西歴史民俗資料館
別館 旧林家住宅
〒494-0006
愛知県一宮市起字下町211番地

アクセス

JR東海道本線「尾張一宮」または名鉄名古屋本線「名鉄一宮」下車、一宮駅西口バスターミナル2番のりばから名鉄バス「起(おこし)」行きで約20分「起」下車徒歩5分

13:00頃～ アーティスト トーク

在廊作家による作品解説等を行います。
お気軽にお立ち寄りください。
※日によって参加作家が異なります。

参加費 無料
申込み 不要
場所 旧林家住宅

14:00頃～ 絵本の朗読会

起を舞台にしたオリジナル絵本「おとうさまがやってきた」を作者の北村尚子が朗読します。

参加費 無料
申込み 不要
場所 本館ギャラリー



10:00～12:00 ワークショップ 「たたき染めで エコバッグを染めよう」

摘んだ葉をハンマーで叩いて自分だけのエコバッグを作ります。
植物の葉の形をそのまま活かす、自然で素朴な風合いのたたき染めを楽しみましょう。

講師 こざわ ちはる
参加費 1人1,000円
定員 12名(抽選)
申込み 9月19日(金)までに二次元コードまたはURLから申し込み

URL
<https://logoform.jp/f/jZApc>



14:00～15:00 天空茶会

陶芸家 加藤高宏によるアートな茶会。
作品や茶事にまつわるお話を聞きながら、作家の茶盃(ちawan)でお抹茶をいただきます。
(小学生以下は保護者同伴でご参加ください)

参加費 1人2,000円
定員 10名(抽選)
申込み 10月12日(日)までに二次元コードまたはURLから申込み
URL <https://logoform.jp/f/9qaUi>



15:30～16:10 Artisan nomade 小さな音楽会「民俗の旋律」

2024年に結成した、加藤高宏とトザキケイコの実験的なアート&音楽活動ユニット。
中世古楽器や民族楽器を使った伝統歌やオリジナル曲を演奏します。
※参加費無料、どなたでもお気軽にお越しください。

場所 旧林家住宅
(演奏中は庭園には入れません。)